

- インスリン治療糖尿病患者を対象に保険適用
- 出荷時較正済みのセンサー装着で、最長14日間までグルコース値を測定可能
- 電極を用いての血糖値測定とセンサーによるグルコース値測定の2つの機能による包括的なグルコースプロファイルによる血糖管理に
- 低血糖リスクを軽減し、患者さんの糖尿病管理を補完します

2017年9月1日－アボット ジャパン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役会長兼社長 坂本春喜、以下、アボット）は本日、糖尿病患者向けのグルコースモニタリングシステム「FreeStyleリブレ」（製品名：FreeStyleリブレ フラッシュグルコースモニタリングシステム）が2017年9月1日より日本で保険適用となることを発表しました。

【（左）リーダー （右）センサー】

「FreeStyleリブレ」は、組織間質液中のグルコース値を記録するセンサーと、その測定値を読み取り、表示するリーダーから構成されます。また本リーダーは血糖測定用電極との組合せで血糖測定を行う事ができます。500円玉大の小型の丸いセンサーを、上腕後部に装着することで、センサー中心部に取り付けられた極細のフィラメントが皮下に挿入され、グルコース値を毎分測定します。センサーは最長14日間まで装着可能です。

「FreeStyleリブレ」のセンサーは、指先穿刺を伴うキャリブレーションが不要です。リーダーをセンサーにかざしてスキャンするだけで、痛みを伴わずに、わずか1秒でグルコース値を測定することができます。時間や場所を問わず、1日に何回でも、グルコース値を測定することができるほか、衣服の上からでもスキャンできるため、人目を気にせず測定することができます。

従来の指先穿刺を必要とする血糖自己測定器のみの使用と比べ、「FreeStyleリブレ」を使用することで、14日間のグルコースプロファイルを入手することが可能になります。測定されたデータは、専用ソフトウェアで読み込むことで、グルコース値や変動データを、実用的なトレンドやパターンで表示するAGP（Ambulatory Glucose Profile）とよばれるレポートに作成することができます。これにより患者は自身のグルコースレベルをこれまで以上に把握することができるようになるほか、医療従事者は、患者の状態を深く理解し、治療方針の判断に役立てることができます。

糖尿病管理において、患者がより活動的で充実した生活をおくるためには、合併症の予防と管理が重要です。そのためには、良好なグルコースコントロールが必要で、高血糖および低血糖の発現時間の短縮、日々の生活での血糖変動を

抑えることが不可欠です。「FreeStyleリブレ」は2つの機能を兼ね備えることで、良好なグルコースコントロールに必要な情報を医師と患者に提供します。

「FreeStyleリブレ」は、2014年に欧州で発売されて以来、39カ国以上で提供され、世界で35万人以上<sup>[1]</sup>の糖尿病患者に使用されています。5万人以上のユーザーから得られた実際の使用例<sup>[2]</sup>から、「FreeStyleリブレ」を使用している患者は、1日平均16回グルコース値を測定していることが分かりました。また、頻回に測定する患者ほど、低血糖の時間が短いことが示されました。

アボット ジャパン株式会社ダイアベティスケア事業部 執行役員 ジェネラルマネージャーのキャサリン・タンは次のように述べています。「アボットは、糖尿病患者さんが糖尿病をより適切に管理し、より健康的・活動的な生活を送れるよう、革新的な技術の開発に取り組んでいます。このたび、日本のインスリン治療を行っている糖尿病患者と医療従事者にFreeStyleリブレを提供できるようになることを、大変嬉しく思います。FreeStyleリブレは、2つの機能により包括的なグルコースプロファイルを把握でき、より効果的な糖尿病管理を行うことに役立ちます。」

国際糖尿病連合（IDF）によると、世界では4億1,500万人<sup>[3]</sup>が糖尿病に罹患しています。また、日本では糖尿病を強く疑われる成人男女が約950万人<sup>[4]</sup>を上りますアボットは「FreeStyleリブレ」を通じて、日本の医療従事者と協力して糖尿病治療の発展を目指し、糖尿病患者の方々が充実した生活を送れるよう取り組んでいます。

日本糖尿病学会による、日本におけるFreeStyleリブレの適切な使用に関する見解については[http://www.fa.kyorin.co.jp/jds/uploads/imp\\_20170822\\_freestylelibre.pdf](http://www.fa.kyorin.co.jp/jds/uploads/imp_20170822_freestylelibre.pdf) をご覧ください。

アボットについて:

アボットは、健康の力を通して人々が最高の人生を送ることができるよう注力するグローバルヘルスケア企業です。125年以上にわたり、栄養剤、診断薬・機器、医療機器およびブランド ジェネリック医薬品分野で、人生のあらゆるステージにおいて、健康が持つ可能性を実現するため、新たな製品・技術を提供してまいりました。現在、世界150カ国以上、約94,000人の社員が、人々が健康で長く充実した人生を送ることができるよう活動しています。

アボット ([www.abbott.com](http://www.abbott.com))、アボット ジャパン ([www.abbott.co.jp](http://www.abbott.co.jp))、アボットダイアベティスケア (<http://jp.abbott-diabetescare.com>)、フェイスブック ([www.facebook.com/Abbott](http://www.facebook.com/Abbott))、ツイッター (@AbbottNews @AbbottGlobal) も合わせてご参照ください。

[1] Data on file, Abbott Diabetes Care

[2] Dunn, T., Xu, Y., & Hayter, G. (2017). Evidence of a Strong Association Between Frequency of Flash Glucose Monitoring and Glucose Control Measures During Real-World Usage. *Diabetes Technology and Therapeutics*, 19(S1). Doi: 10.1D89/dia.2017.2525.abstracts

[3] (IDF) Diabetes Atlas – 7<sup>th</sup> Edition (2015) <http://www.diabetesatlas.org/>

[4] 厚生労働省『国民健康・栄養調査』平成26年